

歴代役員 (2009~2013)

役 職	2009 (21)	2010 (22)	2011 (23)	2012 (24)	2013 (25)
会 長	小川 一成				
副 会 長	山田 清美	山田 清美	山田 清美	山田 清美	櫻井 由美
	吉田 篤子	吉田 篤子	吉田 篤子	吉田 篤子	山之内道子
	櫻井 由美	櫻井 由美	櫻井 由美	櫻井 由美	渡邊 雄一
理 事	石井みどり	石井みどり	浅川 恭子	浅川 恭子	浅川 恭子
	伊東 明彦	伊東 明彦	石井みどり	石井みどり	天野 紳一
	小川 一成	小川 一成	伊東 明彦	伊東 明彦	石井みどり
	尾崎 和恵	尾崎 和恵	小川 一成	小川 一成	小川 一成
	落合 理史	落合 理史	落合 理史	落合 理史	尾崎 和恵
	鎌田 彰	鎌田 彰	鎌田 彰	鎌田 彰	落合 理史
	黒崎 映子	黒崎 映子	黒崎 映子	黒崎 映子	鎌田 彰
	櫻井 由美	櫻井 由美	櫻井 由美	櫻井 由美	黒崎 映子
	塚原三千勝	塚原三千勝	高倉 直	高倉 直	櫻井 由美
	中村 敏子	中村 敏子	高梨 恭子	高梨 恭子	高梨 恭子
	長谷川登代	長谷川登代	塚原三千勝	塚原三千勝	塚原三千勝
	柳沢 知伸	柳沢 知伸	中村 敏子	中村 敏子	中村 敏子
	山田 清美	山田 清美	柳沢 知伸	柳沢 知伸	山之内道子
	山之内道子	山之内道子	山田 清美	山田 清美	吉田 篤子
	吉田 篤子	吉田 篤子	山之内道子	山之内道子	渡邊 雄一
	渡邊 雄一	渡邊 雄一	吉田 篤子	吉田 篤子	
		渡邊 雄一	渡邊 雄一		
委員長理事	浅川 恭子	浅川 恭子	天野 紳一	天野 紳一	伊東 明彦
	飯田 孝道	飯田 孝道	上田 敏雅	上田 敏雅	上田 敏雅
	小野 泉	小野 泉	尾崎 和恵	尾崎 和恵	小野 泉
	黒瀬 良子	黒瀬 良子	小野 泉	小野 泉	鷺野谷由嗣
	佐野かおり	柳沢 知伸	剣 安雄	剣 安雄	剣 安雄
	剣 安雄	剣 安雄	檜作美穂子	檜作美穂子	吉田 勝
	吉田 勝	吉田 勝	吉田 勝	吉田 勝	
監 事	松丸 修久	松丸 修久	鷺野谷由嗣	鷺野谷由嗣	有富久美子
	和田 司	和田 司	和田 司	有富久美子	山田 清美
事 務 局 長	吉田 勝				
事 務 局 員	小林 龍一	小林 龍一	小林 龍一	飯島 和美	山之内道子
	山之内道子	山之内道子	山之内道子	山之内道子	飯島 和美
	海老原康祐		坂 登司男	坂 登司男	大平 妙
			剣 安雄	剣 安雄	
名 誉 会 長	会田 真一				
顧 問	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司

歴代役員 014~2018)

役 職	2014 (26)	2015 (27)	2016 (28)	2017 (29)	2018 (30)
会 長	小川 一成				
副 会 長	櫻井 由美				
	山之内道子	山之内道子	山之内道子	山之内道子	山之内道子
	渡邊 雄一				
理 事	浅川 恭子	天野 紳一	天野 紳一	天野 紳一	石井みどり
	天野 紳一	石井みどり	石井みどり	石井みどり	市川 奨
	石井みどり	伊東 明彦	伊東 明彦	市川 奨	伊東 明彦
	尾崎 和恵	上田 敏雅	上田 敏雅	伊東 明彦	海老沼 洋
	落合 理史	尾崎 和恵	尾崎 和恵	海老沼 洋	尾崎 和恵
	黒崎 映子	落合 理史	落合 理史	尾崎 和恵	鷺野谷由嗣
	高梨 恭子	黒崎 映子	鎌田 彰	鷺野谷由嗣	鈴木 亮子
	塚原三千勝	高梨 恭子	黒崎 映子	塚原三千勝	塚原三千勝
	剣 安雄	塚原三千勝	鷺野谷由嗣	剣 安雄	剣 安雄
	中村 敏子	剣 安雄	高梨 恭子	山中 晶	山中 晶
	吉田 篤子	中村 敏子	塚原三千勝	吉田 篤子	吉田 篤子
		吉田 篤子	剣 安雄		
			中村 敏子		
			吉田 篤子		
	委員長理事	伊東 明彦	浅川 恭子	浅川 恭子	浅川 恭子
上田 敏雅		鎌田 彰	櫻井 由美	上田 敏雅	天野 紳一
小野 泉		川崎 国司	鈴木 亮子	櫻井 由美	上田 敏雅
鎌田 彰		鷺野谷由嗣	玉置 典代	鈴木 亮子	櫻井 由美
鷺野谷由嗣		深田 真	深田 真	増記 隆介	宮本 敏弥
吉田 勝		吉川 仁	吉田 勝	宮本 敏弥	安原 浩
		吉田 勝			
監 事	有富久美子	有富久美子	有富久美子	平野 和子	平野 和子
	山田 清美	平野 和子	平野 和子	藤森 義典	藤森 義典
事 務 局 長	吉田 勝	吉田 勝	吉田 勝	吉田 勝	宮本 敏弥
事 務 局 員	山之内道子	山之内道子	山之内道子	山之内道子	山之内道子
	飯島 和美	飯島 和美	剣 安雄	剣 安雄	剣 安雄
	大平 妙	大平 妙	大平 妙	大平 妙	須賀 正利
名 誉 会 長	会田 真一				
顧 問	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司	大久保隆司	松丸 修久

歴代正副委員長 (2009~2013)

		2009 (21)	2010 (22)	2011 (23)	2012 (24)	2013 (25)
総務	委員長	吉田 勝				
	副委員長	天野 紳一	天野 紳一	浅川 恭子	浅川 恭子	浅川 恭子
		剣 安雄	剣 安雄	剣 安雄	剣 安雄	川崎 国司
		山之内道子	山之内道子	山之内道子	山之内道子	剣 安雄
						山之内道子
都市交流	委員長	剣 安雄				
	副委員長	天野 紳一	天野 紳一	石井みどり	石井みどり	石井みどり
		石井みどり	石井みどり	鎌田 彰	鎌田 彰	川崎 国司
		鎌田 彰	鎌田 彰	三條 和子	三條 和子	平野 皓士
		三條 和子	三條 和子			
語学研修	委員長	黒瀬 良子	黒瀬 良子	尾崎 和恵	尾崎 和恵	鷺野谷由嗣
	副委員長	池田真紀子	池田真紀子	鷺野谷由嗣	鷺野谷由嗣	安蔵 泰夫
		田代 正俊	田代 正俊			尾崎 和恵
						田代 正俊
広報	委員長	小野 泉				
	副委員長					
ログハウス	委員長	浅川 恭子	浅川 恭子	天野 紳一	天野 紳一	伊東 明彦
	副委員長	天野 紳一	天野 紳一	川名 敏子	川名 敏子	天野 紳一
		伊東 明彦	伊東 明彦	高梨 恭子	高梨 恭子	毛利 毅仁
青年交流	委員長	佐野かおり	柳沢 知伸	檜作美穂子	檜作美穂子	
	副委員長	戸邊香奈実		八木 雄建	八木 雄建	
		古田 彩光				
		八木 雄建				
日本語講座	委員長	飯田 孝道	飯田 孝道	上田 敏雅	上田 敏雅	上田 敏雅
	副委員長	上田 敏雅	上田 敏雅	飯田 孝道	飯田 孝道	飯田 孝道
		増田 順子	増田 順子	尾崎 和恵	尾崎 和恵	中内 薫
		宮原美紀子	宮原美紀子	中内 薫	中内 薫	宮本 敏弥
		和地 恵子				

歴代正副委員長 (2014~2018)

		2014 (26)	2015 (27)	2016 (28)	2017 (29)	2018 (30)
総務	委員長	吉田 勝	吉田 勝	吉田 勝	宮本 敏弥	宮本 敏弥
	副委員長	浅川 恭子	剣 安雄	剣 安雄	櫻井 由美	櫻井 由美
		剣 安雄	山之内道子	山之内道子	山之内道子	山之内道子
		山之内道子				
都市交流	委員長	鎌田 彰	鎌田 彰	櫻井 由美	櫻井 由美	櫻井 由美
	副委員長	石井みどり	石井みどり	飯田 高亮	飯田 高亮	猪瀬 雅俊
		剣 安雄	平野 皓士	石井みどり	猪瀬 雅俊	大平 妙
		平野 皓士		剣 安雄	平野 和子	平野 和子
語学研修	委員長	鷺野谷由嗣	鷺野谷由嗣	鈴木 亮子	鈴木 亮子	安原 浩
	副委員長	安蔵 泰夫				
		尾崎 和恵				
		田代 正俊		川村 玲子	川村 玲子	川村 玲子
				木山知寿子	木山知寿子	木山知寿子
				鷺野谷由嗣	鷺野谷由嗣	鷺野谷由嗣
				藤森 義典	剣 安雄	鈴木 亮子
				丸山 奈津	藤森 義典	剣 安雄
					丸山 奈津	藤森 義典
						丸山 奈津
広報	委員長	小野 泉	浅川 恭子	浅川 恭子	浅川 恭子	浅川 恭子
	副委員長		小野 泉	小野 泉	上床 真澄	上床 真澄
			平野 和子	平野 和子	平野 和子	平野 和子
ログハウス	委員長	伊東 明彦	川崎 国司	玉置 典代	増記 隆介	天野 紳一
	副委員長	天野 紳一	天野 紳一	伊東 明彦	大平 妙	浅川 恭子
		毛利 毅仁	伊東 明彦	増記 隆介	山根 逸郎	
青年交流	委員長		吉川 仁			
	副委員長		飯田 高亮			
日本語講座	委員長	上田 敏雅	深田 真	深田 真	上田 敏雅	上田 敏雅
	副委員長	大倉 幾世	大倉 幾世	赤崎 裕彦	酒詰 陽子	梶原 泰明
		中内 薫	隅 修子	中内 薫	荻原 秀高	宮本 敏弥
		宮本 敏弥	鈴木 篤子	楊 淑勉	宮本 敏弥	楊 淑勉
		和地 恵子	中内 薫	和地 恵子	楊 淑勉	
			和地 恵子		和地 恵子	

守谷市国際交流協会規約

(名称)
第1条 本会は、守谷市国際交流協会（以下「協会」という）と称する。

(目的)
第2条 協会は、市民を主体とした幅広い分野における国際交流を推進し、市民の文化の向上に資するとともに、国際親善に寄与することを目的とする。

(事業)
第3条 協会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1) 国際交流に関する諸事業の企画・立案及び実施
(2) 国際交流に関する趣旨の普及
(3) 国際交流に関する情報、資料の収集及び普及
(4) その他国際交流の推進のために必要な事業

(会員)
第4条 協会は、第2条の目的に賛同する個人会員及び賛助会員をもって組織する。
2 会員となる者は、入会申込書を会長に提出しなければならない。

(役員)
第5条 協会に次の役員をおく。
(1) 会長 1人
(2) 副会長 3人以内
(3) 理事 30人以内
(4) 事務局長 1人
(5) 会計 2人以内
(6) 監事 2人
2 会長及び副会長は、理事の互選とする。
3 理事及び監事は、会員の中から理事会の推薦を経て総会で承認し、事務局長及び会計は事務局の中から会長が委嘱する。
4 役員（監事を除く）及び各専門委員会の委員長は、理事会を構成する。
5 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。
6 役員が欠けた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の職務)
第6条 会長は、協会を代表し、会務を総括する。
2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるときは、その職務を代理する。
3 理事は、理事会を構成し、会務を処理する。
4 事務局長は、事務局を総括する。
5 会計は、協会の経理を処理する。
6 監事は、協会の経理を監査する。

(名誉会長及び顧問)
第7条 協会に名誉会長及び顧問を置くことができる。
2 名誉会長及び顧問は、会議に出席して意見を述べることができる。
3 名誉会長及び顧問は、理事会の承認を得て、会長が委嘱する。

(事務局)
第8条 事務局は、会員の中から、会長が委嘱する。

(会議)
第9条 会議は、総会及び理事会とし、会長がこれを招集し、総会の議長はその都度、会員の中から推薦により選任することとし、理事会の議長は、会長が務める。

(総会)
第10条 総会は、年1回会長が招集する。ただし、必要に応じて臨時総会を開くことができる。
2 総会は、次の事項を審議する。
(1) 規約の改廃
(2) 年間事業計画
(3) 予算及び決算
(4) 理事（専門委員長・事務局長・会計を除く）及び監事の選任
(5) その他必要な事項
3 総会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(理事会)
第11条 理事会は、会長が随時招集する。
2 理事会で取扱う事項は、次のとおりとする。
(1) 総会に提出する議案の審議
(2) その他必要な事項

(運営委員会)
第12条 理事会は協会の事業活動を円滑に推進するために、理事会のもとに運営委員会を設けることができる。
2 運営委員会は、会長、副会長及び専門委員会の正副委員長をもって構成する。
3 運営委員会で決定する事項は、次のとおりとする。
(1) 予算及び事業計画にもとづく協会の具体的な事業の執行に関すること。
(2) 各専門委員会間の活動の調整に関すること。
(3) その他、理事会に付議する必要のない事項。

(専門委員会)
第13条 理事会は、協会の事業を推進するために、専門委員会を設けることができる。
2 専門委員会に正副委員長をおき、任期は原則として2年とする。ただし、再任を妨げない。
3 専門委員会は、協会の事業を具体化するため、各々の所管にもとづき、企画・立案及び実施にあたる。

(財務)
第14条 協会の経費は、会費、補助金及び寄付金等をもって充てる。
2 協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会費)
第15条 協会の会費は、次のとおりとする。
(1) 個人会員 年額 1,000円
(ただし学生・生徒) 年額 500円
(2) 賛助会員 年額10,000円

(雑則)
第16条 本規約に定めるもののほか、本協会の運営に関して必要な事項は、理事会にはかって、会長が定める。

附則
この規約は、平成元年7月22日から施行する。

附則
この規約は、平成10年5月24日から施行する。

附則
この規約は、公布の日から施行し、平成14年2月2日から適用する。

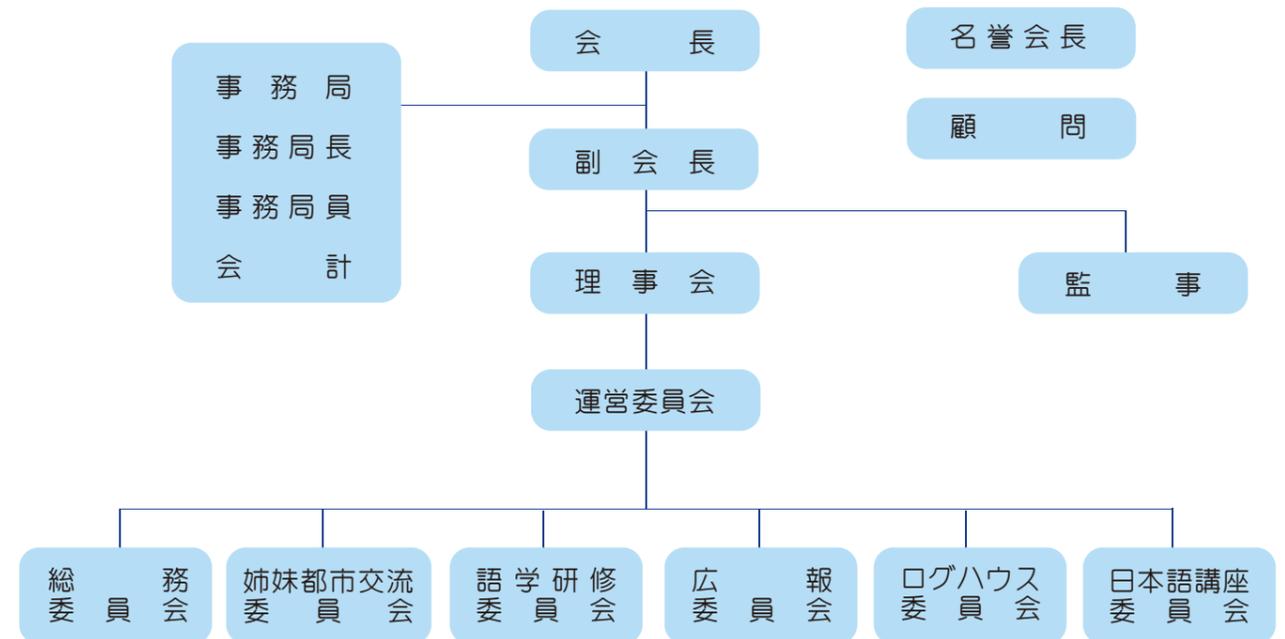
附則
この規約は、平成17年5月22日から施行する。

附則
この規約は、平成21年5月31日から施行する。

第5条第3項関係の細則を定める。

(理事及び監事の選出方法)
1. 改選時期の前年12月に候補者選出のための「理事・監事候補選出委員会（以下『選出委員会』）という。」を理事・事務局の若干名で組織する。
2. 候補者の資格は、以下の条件を全て満たすこととする。
1) 協会の会員で、会費の滞納がないこと。
2) 理事2人以上または会員5人以上の推薦があること。
3. 「選出委員会」は、全会員に、文書で推薦・立候補の募集をし、総会までに、第5条第1項に基づく「理事・監事立候補者」を決める。
4. 「選出委員会」は、理事会に「理事・監事候補者」を提出する。

守谷市国際交流協会組織図



編集後記



記念誌作成で大役を任されることになり不安もありましたが、記念誌部会の協力を得て無事に発行できたことを嬉しく思います。MIFAの30年は平成時代の30年間と重なり、その足跡を振り返り、ほとんどの事業に関わってきた者として感慨深いものがございます。

2011年3月11日の東日本大震災で状況が変わり、中止された事業もありましたが、恒例事業を継続する意義の大きさを改めて実感しております。

結びに、制作にあたり、ご寄稿頂きました皆さまに心よりお礼を申し上げます。

記念誌部会長 浅川恭子

MIFA 設立 30 周年 記念誌 部会

< 総 括 >	浅 川 恭 子
< 監 修・年 表 >	小 川 一 成
< 表紙・ロゴデザイン >	白 澤 栄 樹
< 写 真 >	芥川元・天野紳一
< 書 記 >	平 野 和 子
< 年 表 >	上 床 真 澄
< 語学研修委員会 >	安 原 浩



守谷市国際交流協会